動物用医薬品

【製品名】

<table>
<thead>
<tr>
<th>剤型</th>
<th>剤型番号</th>
<th>数量区分</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>貯存温度</td>
<td>区隔</td>
<td>保存期限</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【表2 増量/減量における授与方法及び授与用量】

<table>
<thead>
<tr>
<th>体重（kg）</th>
<th>初期授与量（最低授与量）</th>
<th>増量/減量</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2.0以上</td>
<td>10mg 1日1回 (10mg/1日)</td>
<td>増量: 10mg 1日1回 (10mg/1日)</td>
</tr>
<tr>
<td>5.0以上</td>
<td>20mg 1日1回 (20mg/1日)</td>
<td>増量: 20mg 1日1回 (20mg/1日)</td>
</tr>
<tr>
<td>8.0以上</td>
<td>30mg 1日1回 (30mg/1日)</td>
<td>増量: 30mg 1日1回 (30mg/1日)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【注意事項】

1. 適量を守る必要がある（一般的注意）

・本剤は、排出医薬品であるため、動脈圧の下降及び失血により使用すること。

2. 注意を守る必要がある（使用上のご注意）

・注意点に従うことを確認してください。
②対象動物の使用制限等
- 約5ヶ月齢の大 viene に使用しないこと。
- ノンサミットはスルンダミフネを有することから、スルンダミフネ線索（サルファフネ、
ATC、失業契約者等）が正確な記述を必要とすること。

③重要な注意の事項
- 年齢差別の低下により本術の作用が増強される可能性があるため、重篤な副作用又は
死亡の影響がある犬に投与する場合は、適切な投与の可否を判断すること。

④本剤の投与方法
- 本剤を経口投与（経口投薬）で使用する製品名及び錠剤数（表）及び「崩壊・薬剤
で使用する製品名と効果成分（表4）」を参考に、定めた用法・用量を遵守すること。